

デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

		担当課名	建設産業課・社会教育課	事業No.	3
事業名	3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム【地方創生推進タイプ】				
目的	藍染料の製造から染色に至るまで5感で感じる体感型観光の推進、藍産業・染織関係者等と連携した魅力発信事業の実施により、町民・県民の藍に関する理解・関心の深化を図る。				
実施内容	町が主体となって、次の事業を実施 1) “藍” deグルメ事業 2) 藍住町総合文化ホール4周年記念事業 3) 日本遺産フェスタin藍住町開催事業				
重要業績評価指標 (KPI)	指標	目標		実績	
	人口の社会増減数	+63人 (2018) → +100人 (2023)		-96人 (2023)	
	移住者数	520 (2019) → 550人 (2023)		581人 (2023)	
達成度	A：達成		B：概ね達成	Ⓒ：未達成	

【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2023年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	9,200,000	908,882	454,441	事業費の1/2

【2023年度の取組と課題】

1) 7月の「とくしま藍推進月間」に合わせて、藍染め製品を身に着けて、町内飲食店の協力店へ行くと、お得なサービスが受けられるイベント「“藍” deグルメ」を開催した。スタンプを5つ集めると商品券が当たる抽選に応募できるスタンプラリーも行い、集客率の増加を図った。これにより町内だけでなく、県内外からのイベント参加者がいたことがわかった。【参加人数延べ1,500人、抽選応募者数244人、協力店47店】「“藍” deグルメ」のイベントは定着化してきているが、マンネリ化が感じられるので、今後の課題として、新たな取組や工夫が必要であると考えられる。

2) 毎年11月に実施しているN響のコンサートにおいて、演者に藍染めの衣装を着用していただき、藍染めのPRを行った。また、四国大学と連携し、演者が着用した衣装のうち、女性のドレスについては四国大学の学生が卒業制作の作品として制作した。コンサート内で衣装の紹介もしていただき、演者・観客から、大変好評であった。

3) 日本遺産「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」のPRのため、色をテーマとしたイベントを「日本遺産フェスタin藍のふるさと藍住」と題して藍の館において開催した。メインイベント開催日には入館料を無料とし、県内外から多くの方にお越しいただいた。

【今後の取組】

「“藍” deグルメ」を単独で開催するのではなく、藍の館や他のイベント等と共催し、より地域活性化ができるような新たな取組を検討したい。
藍産業や染織関係者等と連携して日本遺産のストーリーを広く周知することにより、藍の魅力を発信し、日本遺産のブランド力を生かしたPRイベントを継続して実施する。

※藍住町地方創生推進会議の意見

・藍の館でのイベントについては、日本遺産フェスタのような大きなイベントではなくてもいいので、継続的に実施して、もっと藍の館に足を運んでもらえるような取組をしていただきたい。